

CREIによる各研究テーマ検討の予定

2020年8月11日



Center for Real Estate Innovation The University of Tokyo

CREIによる各研究テーマ検討の予定

1. 東京など大都市の都市力向上方策のあり方

(大都市の都市力・国際競争力向上に必要な権利調整や合意形成等についての制度やその運用の改善のあり方に関する研究)

○主査： 城山副機構長

○概況と今後の予定

- ・現在、借家権（立退料）や区分所有権のあり方（管理不全・所有者不明マンション）などの合意形成のあり方について、実業界等からヒアリングを実施中。
- ・今後、CREI参画教員等を交えて意見交換を行い、検討事項や検討体制の組成等について議論を行う予定。

2. エリア価値増進方策のあり方

(多様なサービスとの連携によりエリア価値を増進するためのモデルやその構築手法・支援制度の確立に向けた研究)

○主査： 浅見副機構長

○概況と今後の予定

- ・現在、交通関係企業をはじめとした生活支援サービスに関する取組について、ヒアリングを実施中。
- ・9月上旬にもCREI参画教員からなる検討体制を発足させ、論点の抽出、データ活用を含めた検討の進め方について議論を行う予定。

3. 不動産情報の集約化と評価・分析

(官民が保有する各種不動産データの効率的な集約方法、不動産関連ビッグデータ解析、不動産情報を用いた不動産市場や関連政策の評価・分析研究)

○主査： 柳川機構長

○概況と今後の予定

- ・CREI参画教員とともにレイズ等不動産データの分析による市場や関連政策の評価・分析のあり方を検討予定。
- ・先般閣議決定された成長戦略も踏まえ、国土交通省における検討と連携し、個人情報保護に配慮したデータ活用手法等について検討予定。

4. 新技術の導入とこれからの不動産業のあり方

(A I・I o Tなど新技術が不動産に与える影響、将来のサービスや制度のあり方に係る研究)

○主査： 武藤特任教授

○概況と今後の予定

- ・文献調査のほか、全日本不動産協会みらい研究所（全日みらい研究所）とともに、不動産に関する新技術の関係でのヒアリング等を実施中。
- ・本シンポジウムの議論を踏まえつつ、CREI参画教員、全日みらい研究所等とともに研究の方向性（AI等新技術と不動産価格との関係等）を検討。